

会員アンケート実施報告

1. 実施概要

- 実施期間：2020年11月10日～12月4日
- 実施対象：日本臨床腫瘍薬学会（2020年11月10日時点の全会員）
- 実施方法：Google フォームを利用、URL を email にて配信
- 設問数：全 27 問、所要時間 5-10 分程度、無記名形式
- 配信数：3922 名（事務局より送信）
- 回答率：20.2% (791 名)

2. 回答者について

Q19. 年齢

	n	%
20代	75	9.5
30代	403	51.1
40代	206	26.1
50代	83	10.5
60歳以上	21	2.7
計	788	

Q20. 性別

	n	%
男	451	57.4
女	335	42.6
計	786	

Q22. 職場の種類

	n	%
病院・診療所	540	68.5
薬局	221	28.0
教育機関	9	1.1
行政機関	3	0.4
製薬企業	2	0.3
製薬企業以外の臨床開発系企業	3	0.4
学生	2	0.3
その他	8	1.0
計	788	

Q23. 職場環境

がん診療拠点病院、または地域がん診療病院

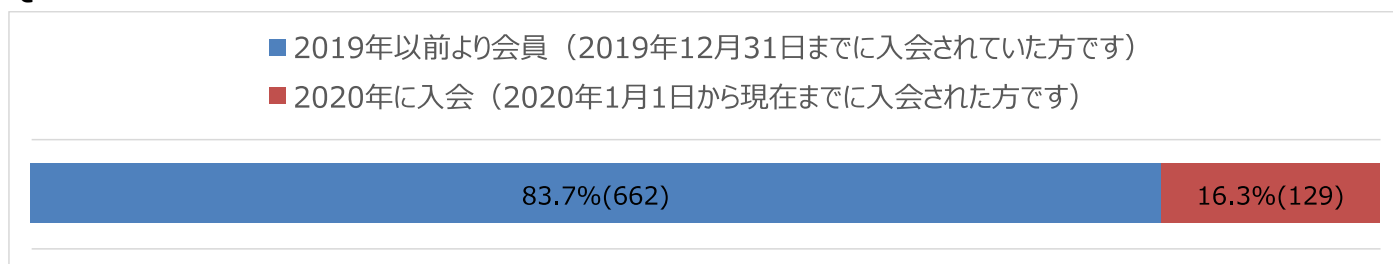
	n	%
はい	360	67.0
いいえ	177	33.0
計	537	

Q21. 都道府県

	n	%
北海道	45	5.7
青森	4	0.5
岩手	3	0.4
秋田	4	0.5
宮城	12	1.5
山形	1	0.1
福島	4	0.5
埼玉	39	5.0
千葉	49	6.3
茨城	19	2.4
栃木	15	1.9
群馬	8	1.0
東京	138	17.6
神奈川	54	6.9
山梨	1	0.1
新潟	14	1.8
長野	11	1.4
富山	2	0.3
石川	9	1.1
福井	1	0.1
愛知	39	5.0
静岡	10	1.3
三重	4	0.5
岐阜	11	1.4
大阪	46	5.9
京都	15	1.9
奈良	6	0.8
滋賀	10	1.3
和歌山	7	0.9
兵庫	29	3.7
岡山	16	2.0
広島	21	2.7
山口	4	0.5
島根	6	0.8
鳥取	0	0.0
香川	5	0.6
愛媛	8	1.0
徳島	4	0.5
高知	4	0.5
福岡	49	6.3
長崎	11	1.4
佐賀	5	0.6
大分	7	0.9
熊本	10	1.3
宮崎	8	1.0
鹿児島	7	0.9
沖縄	7	0.9
その他	1	0.1
計	783	

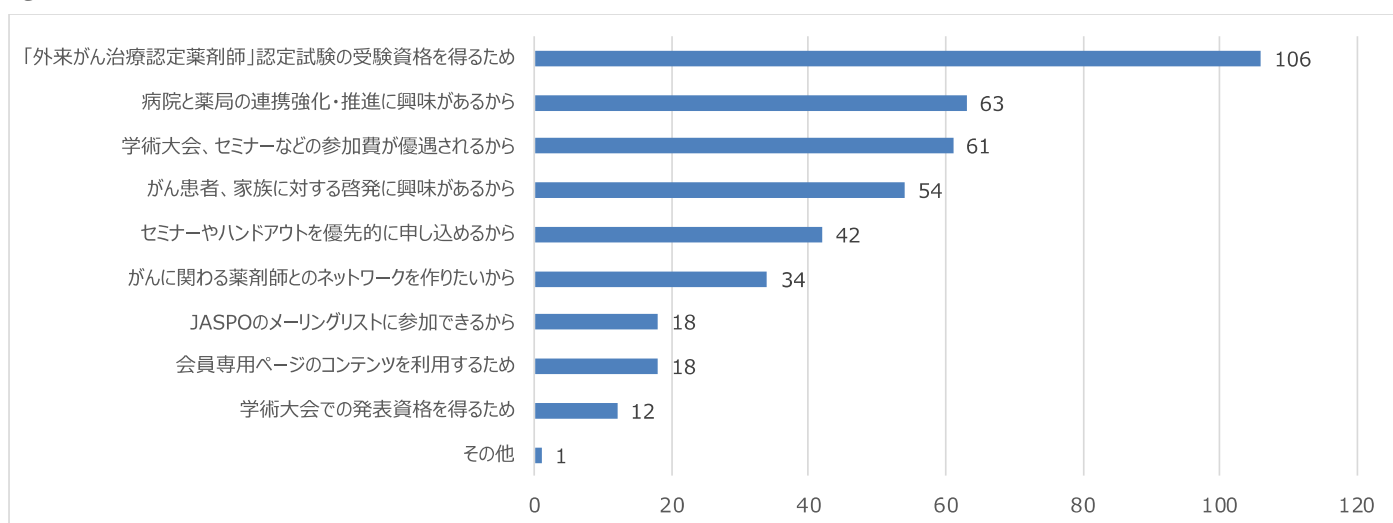
3. 集計結果

Q1. あなたはいつ入会されましたか？

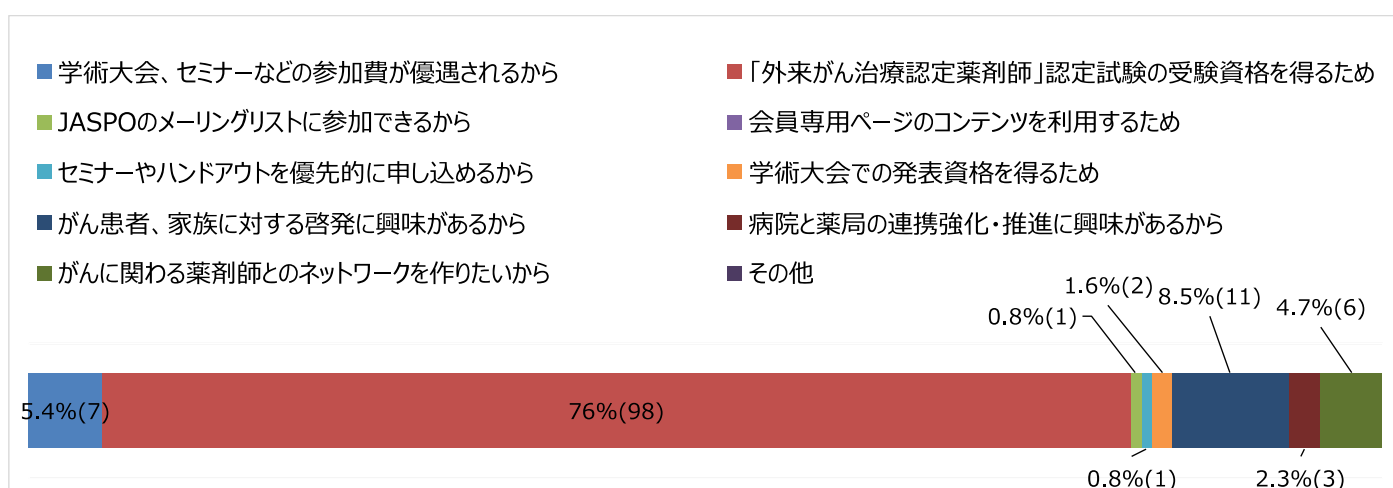


JASPO への入会理由に関する質問 (2019 年に入会した方を対象)

Q2. JASPO への入会理由はなんですか？ 当てはまるものを全て選択してください (複数回答可)

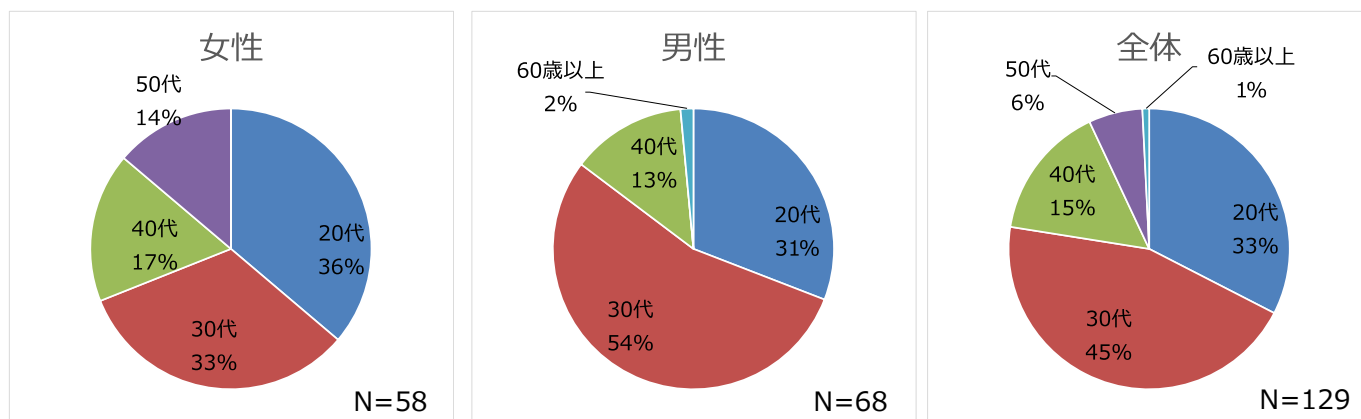


Q3. JASPO への入会理由はなんですか？ 最も当てはまるものを 1 つ選択して下さい。(n=129)

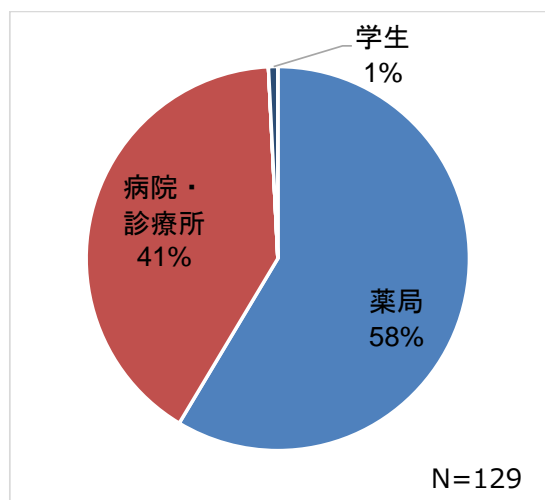


今年度新規に入会された会員の分析

〈年齢別男女比〉



〈職場の種類〉



- ・ 新規に入会した会員を年齢別に分類すると、男性は30代が最も多く半数以上を占めるが、女性は20代が最も多かった。
- ・ 全体としては20代から30代にかけて入会される方が最も多かった。
- ・ 職場の種類における分類では、薬局が58%、病院が41%であった。

最大入会理由	人数	関連する入会理由 (%)		
		第1位	第2位	第3位
認定制度	98	第1位: 参加費優遇 (50.0)	第2位: 病薬連携 (49.0)	第3位: 啓発活動 (41.8)
啓発活動	11	第1位: 認定制度 (54.5)	第2位: 病薬連携 (36.4)	第3位: ネットワーク (27.3)
参加費優遇	7	第1位: 認定制度 / 優先申し込み (71.4)		
ネットワーク	6	第1位: 病薬連携 (50.0)	第2位: 認定制度 / 発表資格 / 参加費優遇 / メーリングリスト (33.3)	

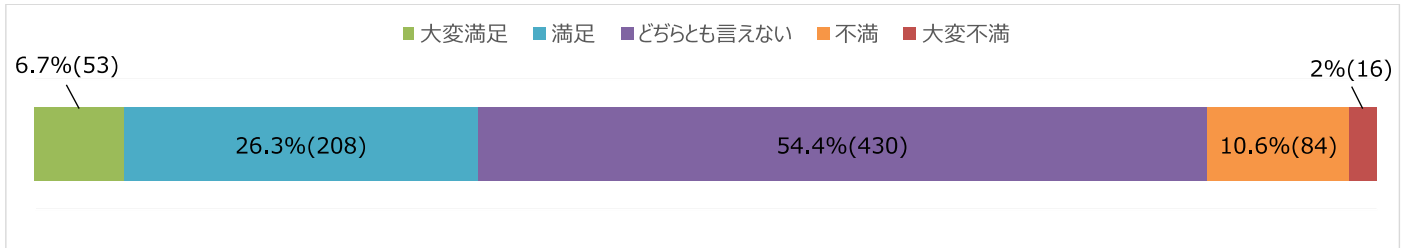
- ・ 新規に入会された方の最大入会理由と、その他にも入会理由があれば選択して頂いた。
- ・ 最も多かった最大入会理由は認定取得のためであり、その他の理由に参加費優遇が挙げられた。
- ・ 次に多かった最大入会理由は啓発活動であり、その他の理由として認定制度が挙げられた。
- ・ 認定制度以外の最大理由を選択された方でも、その他の理由として認定制度を挙げた方が多かった。

JASPO のそれぞれの事業への満足度に関する質問 (n=791)

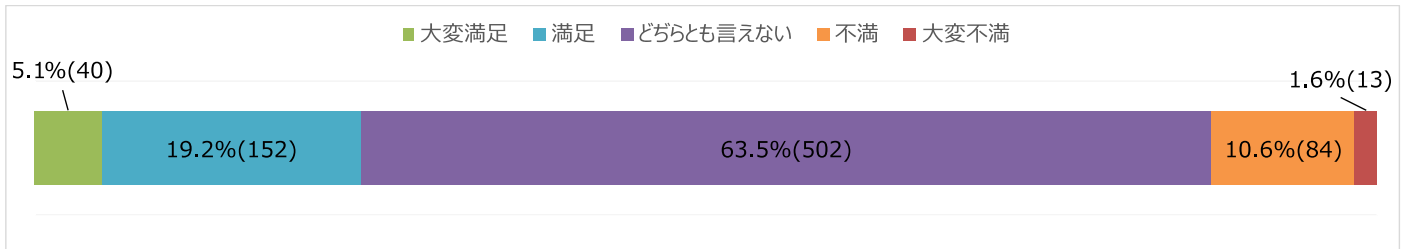
Q4. 学術大会、講演会、セミナー、研修会の開催



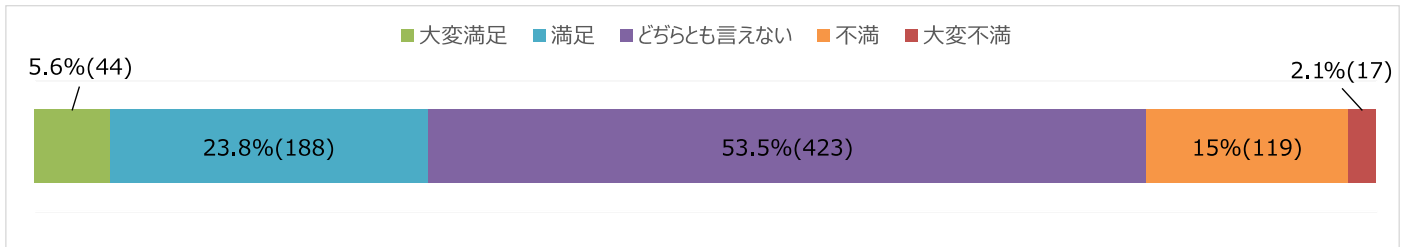
Q5. 病院と薬局の連携強化・推進への取り組み



Q6. 臨床研究の支援、調査研究の実施に関する取り組み



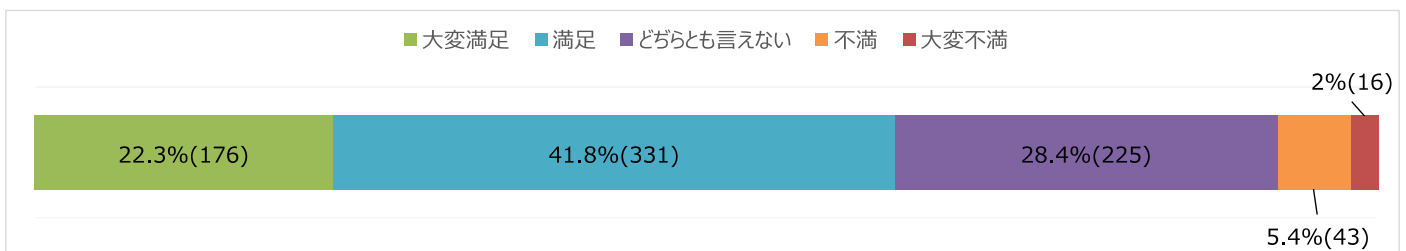
Q7. 薬剤師または多職種の情報交換、相互交流の推進に関する取り組み



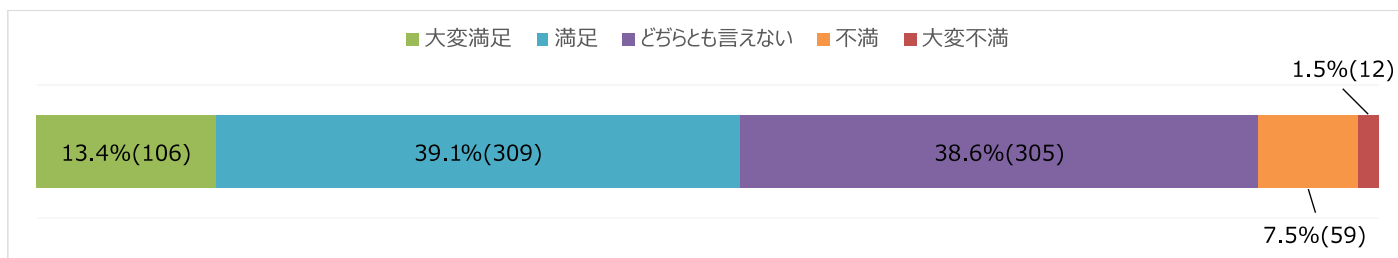
Q8. がん患者、家族に対する啓発活動



Q9. 専門性を有する薬剤師の養成・認定に関する取り組み



Q10.ホームページおよび学会誌による情報発信

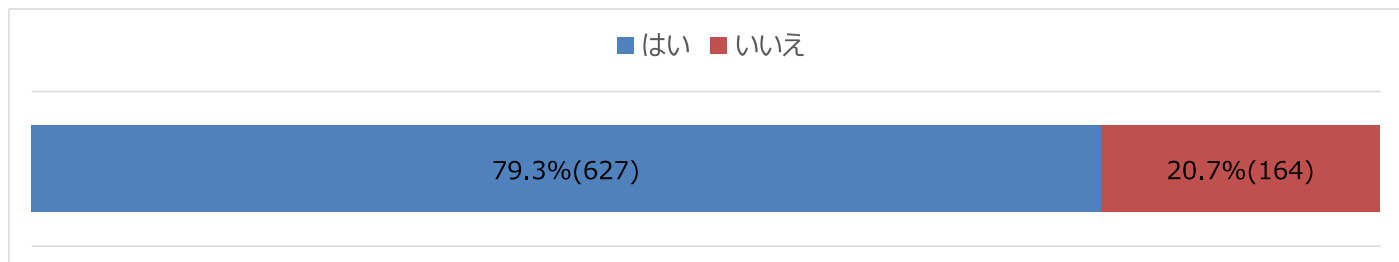


Q11. JASPO に入会されてからの、総合的な満足度はどのくらいですか？

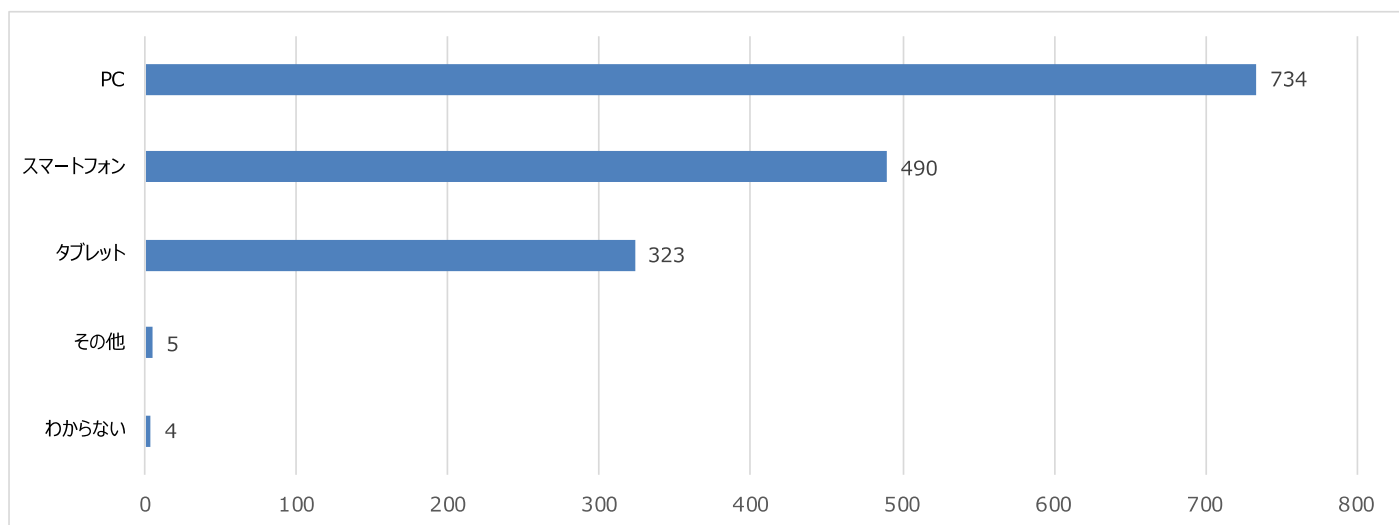


セミナーに関する質問

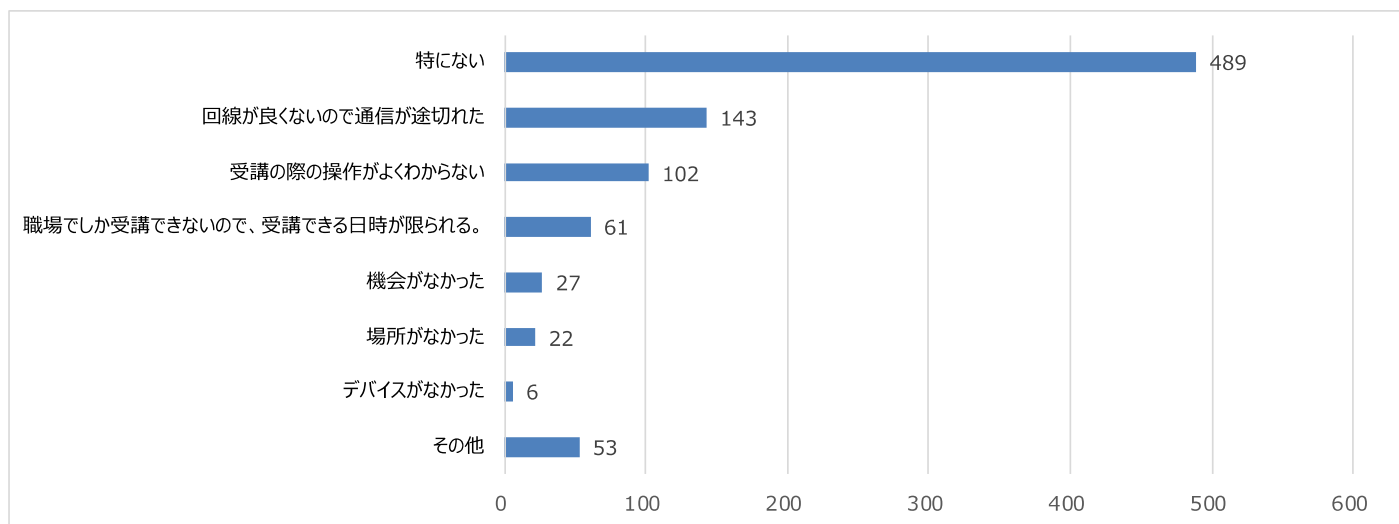
Q12. これまで、インターネットを利用したセミナーを受講したことがありますか？（JASPO 以外の団体が開催するセミナー含む）



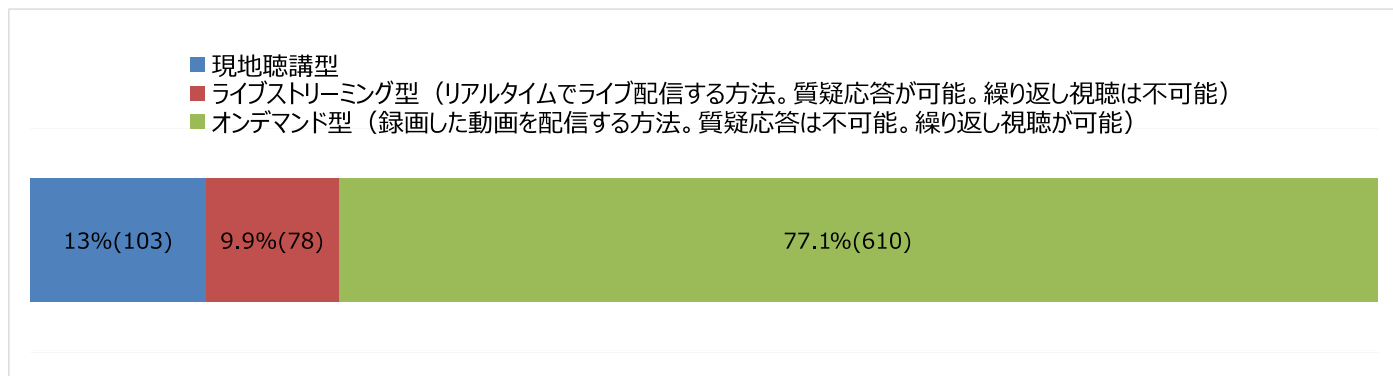
Q13. インターネットを利用したセミナーの受講の際に、使用可能なデバイスは何ですか？（複数選択可）



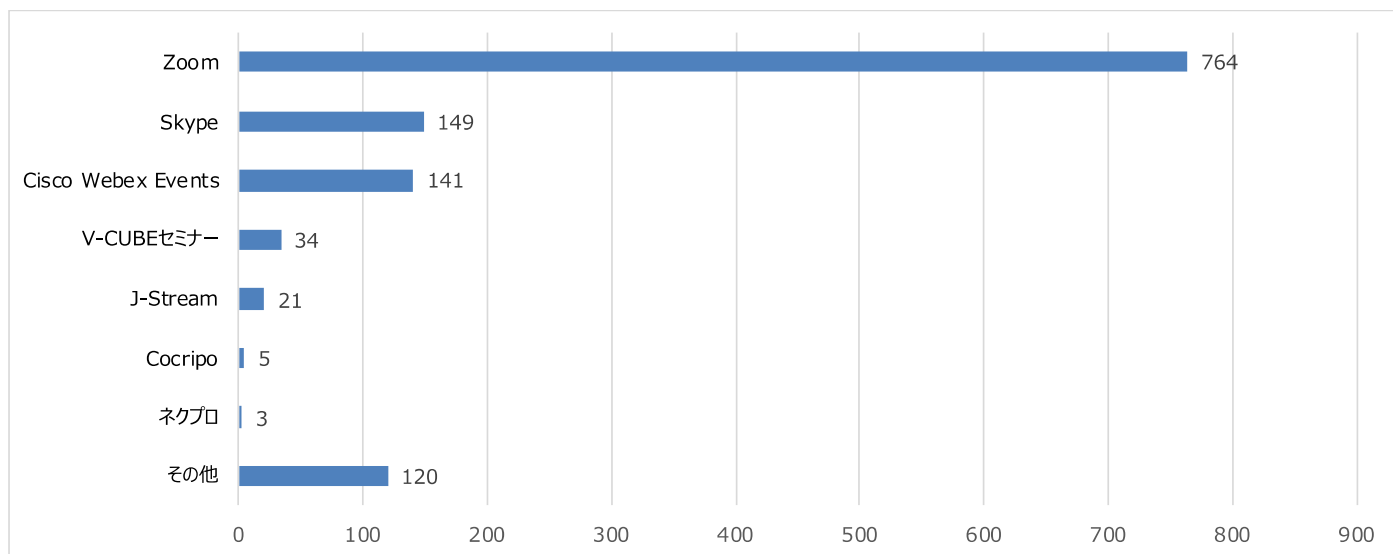
Q14. インターネットを利用したセミナーを受講する場合に、なにか制限はありますか？（複数選択可）



Q15. JASPO ではこれまで、主に現地聴講型のセミナーを開催してきました。今後、現地聴講型のセミナーに加え、インターネットを利用したセミナーの受講が可能となった場合、最も利用したい方法はどれですか？
(n=791)

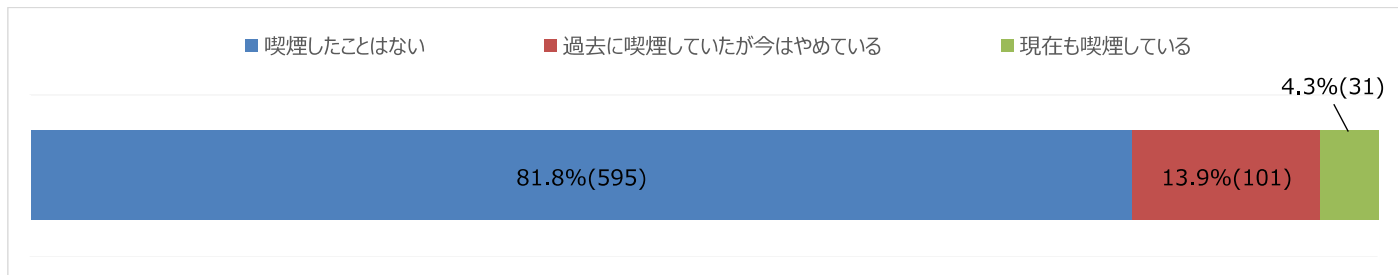


Q16. インターネットを利用したセミナーを受講する場合、あなたが使用可能なツールは次のうちどれですか？（複数選択可）

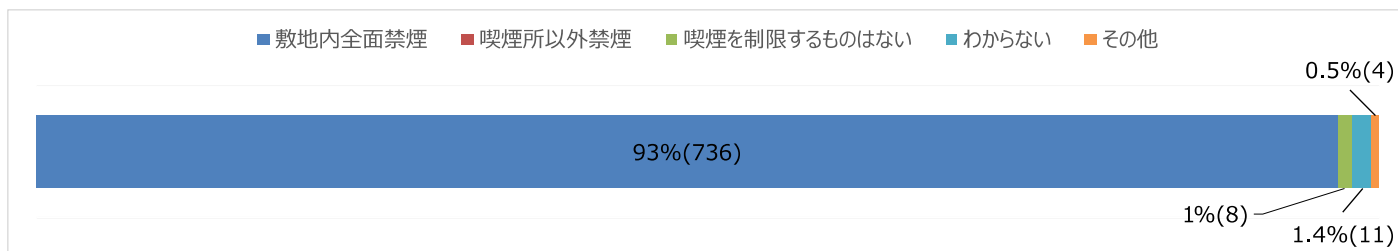


禁煙に関する質問

Q17. あなたは喫煙していますか？(n=727)

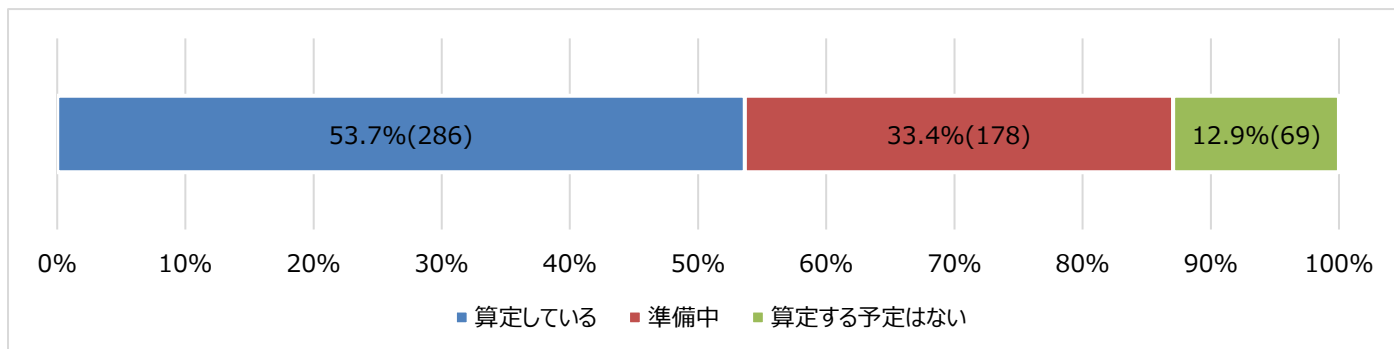


Q18. あなたの職場の喫煙環境を教えてください。(n=759)

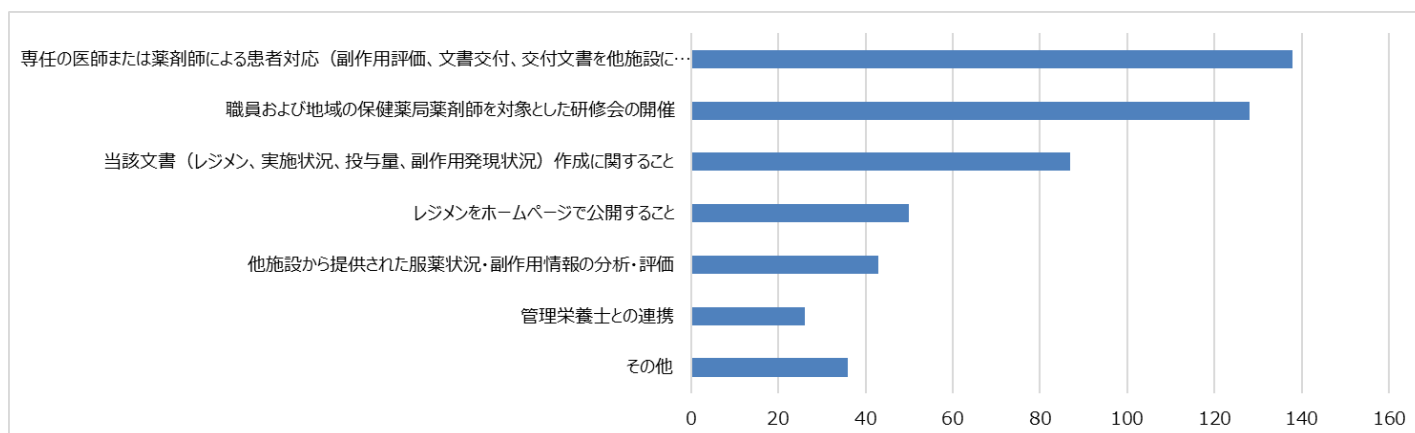


【「病院・診療所」と回答された方に質問です】

Q24. 連携充実加算を算定していますか？ (n=533)

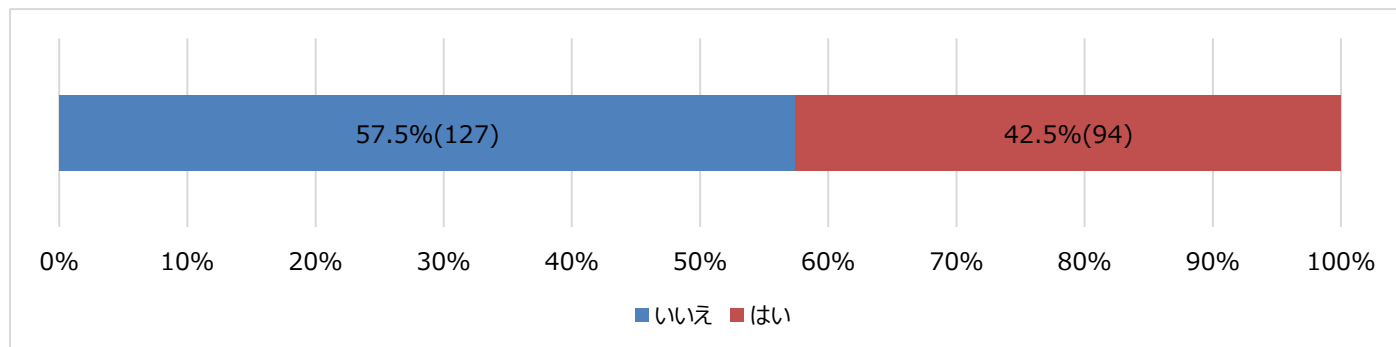


Q25. 連携充実加算を算定するにあたり、最も大変な点はなんですか？ (n=508)

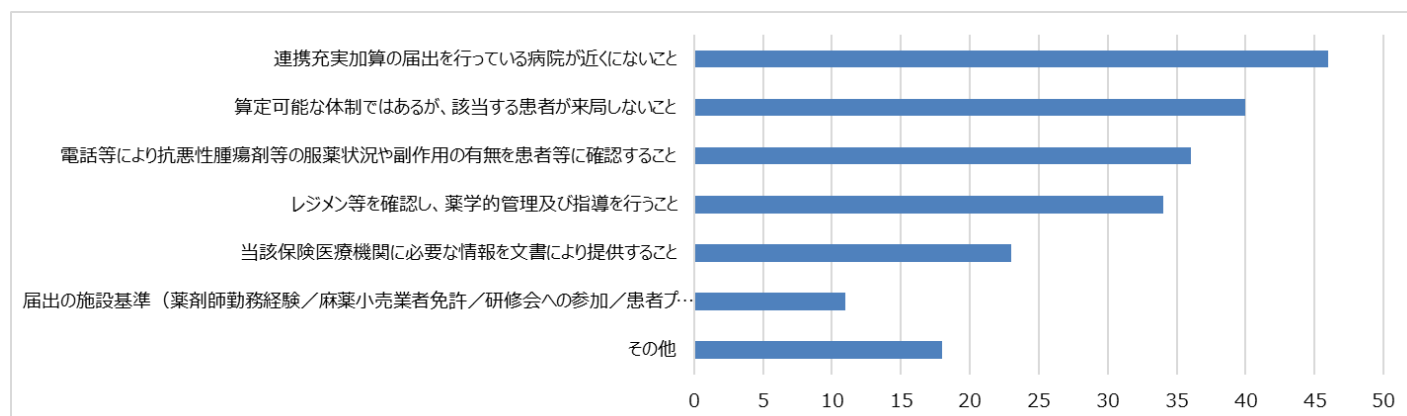


【「薬局」と回答された方に質問です】

Q26. 特定薬剤管理指導加算 2 を算定していますか？ (n=221)



Q27. 特定薬剤管理指導加算 2 を算定するにあたり、最も大変な点はなんですか？ (n=208)



JASPO の各事業の運営に関して、改善点やご意見ご要望がありましたらお書きください。

学術大会、講演会、セミナー、研修会の開催に関するご意見、ご要望（重複あり）

- コロナ禍だから仕方ない 3 件

- 満足しています、良いです、有益です 18 件
 - 地域限定開催だったのが、オンラインで受講できるようにしてくれた点がとてもうれしく、満足しています。
 - 実際にまだ申し込みの段階で受講はしていないが、WEB 研修会への対応が早いことはありがたいです。
 - 多種多様な薬物療法やサポーターケアに関する話題があり、興味深い
 - 新型コロナウイルス感染下、適確な判断の上、開催等されていると思います。
 - 初学者にもわかりやすいです。
 - 開催地、開催内容に関して大いに満足です。

- 学術大会について 8 件
 - 開催時期を年度末以外にしてほしい 2 件
 - 学術大会 2020 中止に伴う参加費の取扱いについて 3 件
 - ◇ 2020 年の学術大会は参加費を返金しないのだから web で実施すべきだった
 - ◇ 2020 年の学会が中止になり、参加費の返金がないのも理解できるが、何か救済があればよかった。
 - ◇ 学術大会中止になり、返金できないのはわかるが、他セミナー等の割引希望
 - 学術大会のシンポジウムを増やして欲しい。コロナ後も、オンライン配信して欲しい。
 - 学術大会は興味のあるセミナーが重なることがあって、すべてを聴講できないので少し残念に思うことがありました。
 - 学術大会で会場が狭く聴講できなかったシンポジウムなどがあり、予想は難しいと思いますが、会場の部屋選びに配慮が欲しい

- 今後も Web で開催してほしい 68 件
 - 予約がとれなかったり、交通費がかさんだりするので、エッセンシャルを今後も web 配信セミナーとしてほしい
 - 内容はとても勉強になります。とかく学会活動は東京まで来る気がないならやる気がないような風潮を感じることもありますが、家庭事情で遠征できない薬剤師もいます。地方開催が少ないのが不満でしたが、リモートやオンデマンドでの開催も行われる様子ですので、その部分の充実を希望します。
 - 東京と大阪ばかり。もう少し開催場所を増やして欲しい。今後もオンライン受講を継続してほしい。子育てをしているので配信期間も長くしてほしい。
 - 地方のため、開催地である都市部に移動するのに時間や費用がかかるため、できれば Web で配信していただけたら大変助かります。
 - 大都市のみの開催なので参加することが時間も費用も大変だったが、コロナの影響で web になったので、その点はとても助かっている。
 - 今後は、地元で聞けないセミナーを WEB 開催も検討いただけたら幸いです。
 - 今回 Web セミナーのおかげで参加しやすかったです。コロナシーズン抜けても継続して頂けると地方受講者にはとても助かります。3 年で 60 単位の更新条件を病院が出張費を出してくれないので、自腹になるので、参加費だけで済ませたいです。

● 地方、都内での開催またはオンラインでの開催をしてほしい 36 件

- 内容はとても勉強になります。とかく学会活動は東京まで来る気がないならやる気がないような風潮を感じることもありますが、家庭事情で遠征できない薬剤師もいます。地方開催が少ないのが不満でしたが、リモートやオンデマンドでの開催も行われる様子ですので、その部分の充実を希望します。
- 細かなニーズに合わせて開催されているところが良い 関東のみで行うなら旅費が必要となるので、長時間一気に開催してほしい
- 名古屋でも開催して欲しい。今後もウェブでもよい
- 講演会、セミナー、研修会の機会が都市に偏っていた。コロナの件でオンラインでの機会が増えたことは評価できる。
- 限られた場所での開催であったため、交通・宿泊費の負担が軽減されるのであれば、全て web 開催を希望
- 名古屋での開催が少なく全国大手チェーン優遇の開催地に偏っている
- 地方在住にも参加しやすい開催場所、日時が増えるとありがたいです。
- 京都や滋賀での開催を希望
- コロナ禍で仕方ないとはいえまた都内での集合研修をしてほしい。

● オンデマンド等繰り返し視聴可能にしてほしい 12 件

- セミナー等が大阪東京がほとんどだったので非常に不満でしたが、WEB 開催となり、非常にありがたいです。病院薬剤師は給料も残念ながら低い割に多くの学会に所属し、参加しなければなりません。WEB でも研修はできるので（むしろ何度でも視聴は見逃し聞き逃しを防げるので非常に有用）ぜひこの運用を続けて頂きたいです。
- セミナーは今後も Web 開催にしてほしい。なかなかセミナーの参加をとれないため。また、You Tube チャンネルなどに登録して配信していただくと TV で視聴可能なためうれしい。
- オンラインで見れる期間をもう少し長くしてもらえると助かります。
- 以前のようにネット上でも勉強できるようセミナーの動画を公開して欲しい。
- ネット上でのセミナー開催であれば、土日を最低 2 回含めるまたは視聴期間を延長してほしい。X-program のような開催する方はお金がかからないのは分かるが人数を極端にしぼることとなり、見せる気があるのか疑いたくなる。広島セミナーは楽しみにしています。
- web 開催の研修会の視聴期間を 2 週間程度にして頂きたい

● 定員、回数を増やしてほしい 27 件

- web セミナーなら人数制限外してほしい、値段下げてほしい
- 人気のある研修会はもう少し参加者の枠を増やしてもらいたい。症例報告のワークショップは地域で年 1 回だけだと、その日の都合が悪いと参加できないので、複数回開催してもらえると助かる。
- 近場で参加可能だったため、今年の年会が中止になったのが悲しかったです。エッセンシャルセミナーの枠を増やして欲しい。
- セミナーの内容は大変勉強になります。しかし、参加人数が少なくすぐに定員となり受講できない場合があります。今回の X プログラムも気付いた時には定員となっていました。オンデマンドで対応していただくと嬉しいです。
- 締切が早い、定員が少ない
- 先着順の時は、仕事で申し込みが遅れると締め切りになってしまうことがあり、参加できないセミナーがありました。

- 会員のもかかわらず、エッセンシャルセミナーが取れないことがあるのは、なんとかしてほしいです。
- セミナー申込み時の回線パンクはやはり困る
- セミナーの定員が少なすぎると思います。申し込みが業務時間内にあると定員に達するまでに申し込みができず、認定の更新が危うい状態です。セミナーをオンデマンド配信にするのであれば、もう少したくさん参加できるようにすべきではないでしょうか。
- WEBセミナーになってから、申し込みが今まで以上に早く締め切りになるため、申し込み人数を増やすなど対応してもらいたい。
- 回数を増やしてほしい

● 費用が高い 8 件

- 研修会の参加費がやや高い。また、開催地が限られるため旅費がかかる。WEB で繰り返し視聴できるなどできるとよいと思います。。
- オンライン開催により、勤務や遠方などの都合上参加できなかった人が参加できるようになったのは良い。しかしその分参加費は多く集まっているだろうし、会場を抑える必要がない分運営費も抑えられているはず。それらが会員に還元されている実感がないことが不満。
- 自己研鑽と資格保有の意味合いも兼ねている。自費なので、会員のセミナー参加費を少し低価格にしてほしい

● クレジットカード決済にしてほしい 2 件

- WEB 対応が増えたことが大変嬉しく、参加頻度が増えました。参加費等のクレジットカード決済が可能になればさらに助かります。

● 単位をつけてほしい 7 件

- セミナーをウェブで行ってほしい。ウェブセミナーでも日病薬の単位ももらえるようにしてほしい。
- 日病薬のがんの単位も取れるとなおいい
- Web 開催のセミナーで日本薬剤師研修センターの単位が得られないのが辛いので、得られるようにしていただくと有難いです。（学会によっては Web 開催でも得られるようにしている）
- jaspo 主催のセミナーだけでなく、もっと他の研修会等にも点数を付けてほしい

● 会場に対するご意見 7 件

- 今年度は WEB のため該当ありませんが、可能であれば席は受講番号順に指定いただくと嬉しいです。
- 席に余裕がなく、狭いスペースでテキストを広げなければならないのもう少し広く使えるようになると有難いです。
- 会場の椅子の座り心地が良くない。腰が痛い。どこかの大学でやってほしい
- ほぼ、満足していますが、会場での開催時は、混み合うことが多く、特にそれに対して余り、誘導的なものもないように思います。

● 講演会、研修会、セミナーの運営について 6 件

- 今年は、web での開催が中心となりましたが、今後の開催に関しても早めに web なのかを開示していただけるとうれしい。

- 今後も Web 開催で継続したセミナー活動を続けて欲しい。セミナーX は職場しか資料送付場所が選べなかったのは何故でしょうか。
- セミナーのハンドブックが見にくい（白黒・画質）
- コロナ感染症にて延期となったセミナーについての連絡がない期間が長く、進捗状況が分からず不安になることがあった。
- オンラインでも円滑に進めて欲しい
- エssenシャルセミナー X がコロナの影響で延期になったのは仕方ないがその後の対応が遅すぎる。

● 講演会、研修会、セミナーの内容に関するご意見・ご要望 11 件

- 臨床試験の結果だけでなく、現場でよく使われるレジメンや書籍などに記載のないレジメン(血液内科など)についての詳細が知りたい
- 本当の基礎(今更聞けない)のセミナーがあっても良いのかもしれない。
- 内容が薄い
- 治療に関する研修テーマもありがたいのですが、お金に関すること(高額療養費制度など)もまた聞けたらと思います。
- 抗がん剤の臨床試験の読み方、新薬評価に関するセミナーがあると良いです
- 研究もよいが、ベーシックセミナーと最新の治療ガイドライン（レジメン）について繰り返し発信してほしい。
- 介入事例等で保険薬局の内容がもっと充実すると良いと思う
- 以前にありました EZ -R の使い方の様なセミナーも開催いただきたいです。
- もっと質を上げて欲しい
- 学術的な議論がメインですか？ただ単に単位だけですか？
- とつきにくい

病院と薬局の連携強化・推進への取り組みに関するご意見、ご要望

- 薬薬連携が十分でないとする意見(否定的なもの) 20 件
 - いまひとつ連携への取り組みの実感がありません 3 件
 - 自分の地域では連携が十分とは思えない 2 件
 - 始まったばかり 2 件
 - 以前よりかは連携が強化できていると思うが、コロナの影響により今年度はあまり連携を強化できなかったように感じています。
 - 結局、ごく一部の施設のみでの取り組みに限局しているのが現状 4 件
 - 全国的な展開を期待しています
 - 大病院と周りの薬局のみの世界
 - 病院のマンパワーの問題で今一つ進んでいないと感じる。地域差や病院間の差が大きくなっている。
 - がん拠点病院は段々つながりが出来ている気がするがその他の病院が全く進んでいない
 - 門前との取り組みが多く、連携強化、推進という意味では学会が提供する研究会では、ないと感じる。
 - 個人での活動に限界がある
 - 大手チェーンとの連携が多く地区薬剤師会を主体としないと地域包括ケアも回らないかと。
 - 薬局で懸命に協力して頂けるのは地方ではほんの一部。都市部では積極的かもしれませんが、地方ではお金の取れない点数に結びつかないことは力を注いで頂けない。

- 調剤薬局に対する意見 4 件
 - 病院からの情報に対し、薬局からレスポンスがあまりない
 - 薬局からも連携について意見が欲しい
 - 薬局薬剤師の認定資格取得への熱意が低い
 - 地域によって連携の形は違ってよいし、薬局の体制の違いが大きいため、まだ困惑している

- 病院に対する意見 2 件
 - 進んでふところは進んでるかと思いますが、調剤薬局の先生方への説明や勉強会の開催をもう少し増やしても良いと思います。
 - 門前に、レジメン公開してほしい

- 具体例が知りたい 9 件
 - 連携充実加算での具体例を提示してほしい
 - 事例の紹介が中心。具体的な介入や、アドバイスはない。また、どのような薬薬連携を目指しているのかが分からない。
 - 連携のモデルとなる施設の紹介が知りたいです 4 件
 - パワーがない病院でもどのように工夫して連携を行っているかなどの取り組みも知りたい
 - 内服薬の連携が目立つが、現在連携算定は注射を受けている場合なので、2 週間に 1 回治療での連例などの事例を提示してほしい
 - 入退院時カンファレンス等への関わり方の事例紹介など

● 専門病院の取り組みについて 3件

- 薬局薬剤師を対象とした専門病院における研修・連携は積極的に行っていくことは良いと思います。
- 取り組みやすい実務的な研修制度はとて素晴らしいと思います
- がん拠点病院の処方にステージやがん種 院内のケモ内容を記載するのを必須にしてほしい

● 学会に対する要望・意見 23件

- 病院と調剤薬局の交流の架け橋に学会がなって欲しい 2件
- どのような取り組みを行っているのか、わからない会員が多くいると思われま
- 連携強化というより、抜本的な対策を行って欲しい。(コロナ禍ではありますが。)
- 病院・薬局間で連携を強化する上で、ディスカッションできる機会がもっと増えれば良いと思う。コロナ禍で難しい状況ではある、推進できるような方法を考えていきたい。
- 病院に勤務しているが、特に連携強化の推進支援を受けている実感はない
- 連携充実加算も算定できるようになったので、今までより一層進めて欲しいです。
- 薬局向けの情報が足りないと思う 2件
- 病院に合わせているだけで薬局に即していないことがまだ多い
- セミナーなどの知識啓蒙ではなく、実質的に使える運用を指導するための事前研究および検証研究について、学会が先導して行う時期にきていると思われる。
- 薬薬連携は環境によって異なるため、多彩さが欲しい
- 専門のセミナーを企画して頂いているのでディスカッションもできて良かった
- これまで病院が独自に薬局薬剤師の研修を行ってきた。そこに割って入って中間マージンを取るメリットが不明。薬局は払う金額が増え、病院は収益が減った。目標だけでなく、テキストや詳細な研修内容の整備があってしかるべき。
- 薬局薬剤師の病院研修を、もっと簡易的なものも作ったらどうでしょうか。数ヶ月だと受け入れる側もハードルが高いため、数日の見学や研修でもその後のモチベーションには繋がるのではと思います。
- 薬局薬剤師の病院見学みたいな企画がなくなって久しい。復活させてほしい
- 高額薬の院内処方や手帳記載をしない、トレポ受け取り対応不可など、個々に病院の問題点の差が大きい。外来がん治療における連携のガイドライン、整えるべき基本体勢など、病院への働きかけをしていただけるとありがたい。
- PRO-CTCAE の様に病院だけでなく、薬薬連携強化にも使用できそうな気がしますが電子媒体がどうしても必要になります。ご高齢の方でもスマホの所持率は年々高くなっているように思います。学会手動でアプリを作るとかは無理でしょうか。同居している若い家族がいればその方のスマホにアプリを入れて対応というのもできるかもしれません。
- 取得までのセミナー開催スケジュールが分かり難い
- 専門医療機関連携薬局に関連して先般の病院の研修受け入れ態勢の準備には大変な労力をかけていただいたと思います。私もその通りですが保険薬局側の能力向上は必須かつ問題となっていると感じます。ただ、薬局の少ないマンパワーの中でこの研修に行かせてもらえる薬剤師は本当に恵まれているとも思います。取り組み推進ということであれば、抗がん剤治療を行っている地域での病薬連携の進捗の鈍さは知識差だけの問題でもないように思います。折角医科・調剤ともに点数化されたので、もっとここを訴求していただいた方が助かります。特定薬剤管理指導加算Ⅱの取り組みのひな型になるようなツールがあればより進むと思います。例えば連携充実加算の病院側におけるレジメン公開用の様式・ツールですとか、薬局側におけるフォローアップ用の薬剤毎の時系列的副作用確認シートのようなものなどあれば皆の取り組みハードルは下がってくると思います。地域・施設オリジナルのものでも良いのですが、学会で標準化されたものを発信し

ていただくとよりビギナー、カスタマーは安心しますし、薬局からの働きかけもしやすくなり学会の求心力（このようなものが必要かは量りかねますが）も高まると思います。

- 薬業連携の研修会の回数を増やしてほしい。
- 学会として指標となるガイドライン作成をして欲しい。
- 専門性深める上では重要なことだと思います、もっと身近な整備を薬剤師会等連携が必要かと思います。

● その他

- 日本医療薬学会で、地域薬学ケア認定制度が発足がしました、学会がちがうので難しいとは思いますが、元々医療薬学会のがん認定は病院むけ APACC は薬局薬剤師での取得可能な認定となっております（地域ケア制度も薬局むけのため）のでそのあたりの整合性があるとよかったですとおもう。
- 講師派遣はとてもありがたい制度です
- 地域連携委員会がその役割を全く果たせていない
- 連携会議などがあればよい
- 病院薬剤師が薬局で研修する制度があれば活躍したいです。
- 薬局と病院で連携している所がちらほらあるが、各施設当人のマンパワーに頼っているように感じる。時間の管理がなされていない。連携する為の時間の確保やホワイトな印象を作らないと薬局サイドの数の増加は見込めないし、病院側も継続性や連携強化・推進～を薬局と共にというのは難しいように温度差を感じる。

臨床研究の支援、調査研究の実施に関する取り組みに関するご意見、ご要望

- 臨床研究に関わりが無い 6件

- 臨床研究の支援に対する意見 19件
 - 具体的な支援がない。他学会に倣い、研究者の紹介程度はயತ್ತらうか。
 - 研修会等の案内に比べ、事業があることの周知が直前となっている印象あり
 - どのような取り組みを行っているのか、わからない 6件
 - 初心者への取り組み支援が充実すると良い 2件
 - 研究費を増額してほしい 2件
 - 希望施設で一緒に調査研究出来ればいいなと思います 3件
 - 施設によっては指導者がいないようなこともありうるため、調査研究で相談窓口があてほしい。 2件
 - 裾野を広げることにはつなげていない
 - いまいち活動の成果が見られません。学会主導の共同研究など立ち上げてはいかげしょうか。

- セミナー開催の要望・意見 7件
 - ワークショップのような形で研究計画を支援してほしい 2件
 - 専門のセミナーを企画して頂いているので学ぶ機会が多い
 - 統計解析について、具体的な臨床研究を用いて解説したセミナーがあると有難いです（なかなか大学病院以外の市中の病院では、統計に明るい薬剤師がいなく困っています）
 - 研究関連のセミナーが少ない印象です。
 - 何回かのコースを受講すれば一通りの知識が着く様な年単位のカリキュラムで教えていただきたいです。そのかわり少しスパルタな感じで。
 - 研究の開始時に知っておくべき基礎知識や医学統計の基礎といった基本的事項をレクチャーいただける研修会の開催を希望

- その他
 - 保険薬局が参加するにはハードルが高いように思う 2件
 - どこかの施設が行う研究を支援する形ではなく、研究を計画および実行できる委員が学会が主導的に行う研究を行っているという姿勢を見せない限り、個々の臨床薬剤師が各施設で研究を行うということはないだろう。少なくとも学位を持った研究実績のある委員をもつと採用するべきである。
 - 臨床研究法等のレギュレーション面り教育、啓蒙がまだ手薄になっていると思います。

薬剤師または多職種の情報交換、相互交流の推進に関する取り組みに関するご意見、ご要望

- 機会がない 4 件
- 何をしているのかをしりません。 7 件
- 多職種と交流できるのはどうやったら交流できるのか分かりにくい
- 薬剤師間は情報交換が活発だが、他職種はそう感じない
- 薬業連携よりも多職種連携の方が容易な現状がある。
- これを本学会が行う重要性は現在は大きくないと思われる。もっと力を入れるべき案件があるのではないか。
- 調剤薬局にいと実感しにくい。
- 大手チェーンでなく薬剤師会や地域包括ケアに重点を置いた他職種連携、個人在宅に焦点を当てて頂きたいです。
- まだまだな部分がたくさん
- JASPO 会員だけでは、がんに特化した薬剤師しかいないのではないのでしょうか。
- 地方にいと中々その内容での研修などがあっても東京まで足が向かないのが本音です。でも看護・介護領域の話は実はとても大事だと認識しています。リモートでの交流・交換は正直限界があると思うので、せめてそれぞれの分野・専門の方々の目線からがん患者さんに接する時の注意点など知識共有だけでも学会で助けていただければと思います。
- 連携会議などがあればよい
- msw の方のお話などためになる内容が多い。
- 多職種からの学会認知度を上げるべきだと思う。
- 病業連携研修会を増やしていくべきです、病院側も人材不足で連携充実加算取得できないなど研修会開催もできないという大きな病院でもあります。

- メーリングリストに対する意見 11 件
 - メーリングリストでの情報交換は大変参考になります 6 件
 - 匿名の ML 投稿は背景がわからず質問内容に適切に回答できているのが難しい。また、過去レスが確認しにくい、またそのような状況の中、批判的に揚げ足をとるような一部の投稿者がいることは残念。結局、ML 外でのメールのやりとりになり、ML が活性化しないのではないか。
 - メーリングリストは色々な病院の情報を聞けるのはありがたいが、何千人も会員がいる中で質問はあげにくい。
 - 敷居が高すぎるので 2 段階（高レベル、低レベル）の ML があると良いと思う。
 - 複数のメールの回答が混在するので回答をまとめて欲しい
 - メーリングリストは勉強になりますが、突拍子もない回答のこともあるので簡単に精査してもいいのかなと思う
 -
- 情報交換の場について 15 件
 - 対面での情報交換の場も欲しい 3 件
 - オンラインでも開催は有り難い
 - 多職種の情報交換、相互交流の機会や場所をもっと設けてほしい
 - 地域ごとに分かれて実情にあった話し合いがしたい。 2 件
 - 他の施設との交流があると助かります。働き方、時間の作り方、指導のしかた、調整に関わる情報など気軽に聞ける薬剤師仲間が多いと業務の改善にもつながる
 - 学術大会中に多職種の学会と共催のセミナーやシンポジウム等を活発に行えばいかがでしょう。 2 件

- 若手向けの情報交換があると有難いです。
- 医師や看護師の講演を増やしてほしいです。 3件
- がん専門看護師との交流をはかりたい

がん患者、家族に対する啓発活動に関するご意見、ご要望

- 何か取り組みをしているのか、認知していない。(14件)
- 何もできていない。実績がない。(5件)

- 学会への活動要望 14件
 - 学会として患者に認知度向上が必要(3件)
 - アプリや資料など、がん患者や家族に対する説明・リーフレット等、学会発信のものがあってもいい様に思いました。(2件)
 - 学会なども一般の方も参加できる市民講座など開催したらどうか？
 - がん患者や家族への教育に尽力した方がいい
 - 学会が何をやっているか伝わっていない印象があります。自分の勉強不足によるものですが、患者にお示しできる活動にも力や注意を注ぐ必要と感じました。
 - 薬学会より世に発信する方向へ、
 - もっと積極的に活動してほしい。
 - 患者会を含めてアピールが必要
 - 抗がん剤についてイメージ先行で根拠のない恐怖を抱えている方が多いと思います。手術は良いけど薬は嫌だ、というような方は大変多いです。罹患済みの方に対しても、これからがんにかかるであろう方々にもリーチする、プライマリー的な取り組みを希望します。
 - 二人に一人ががんになる時代でも、がんがどんな病気なのか知らない人が多いと思います。がんになる前から正しい情報をもっと伝えた方がいいのでは？と思います。怪しい本や情報誌など持ってくる患者さんもおります。学会がきちんとした情報提供できると、情報元としても安心できるのではないのでしょうか？
 - 外来がん治療専門薬剤師の単位認定としてのセミナーとしては難しいかもしれませんが、患者さんやご家族に対する心理面のケアや、がんが進行したときに患者さんに掛ける言葉などのセミナーなどもあればいいのかなと思います。

- その他 9件
 - がん情報サービスを利用している
 - がんセンター東病院の市民講座は素晴らしいと思います。
 - 患者様にとって、相手が認定薬剤師であろうが、なかろうが気にしている様子は無いので現状で十分と考える
 - まあまあかなあ、という感じ
 - 就労支援に力を入れています。がん告知からの離職をどうにか減らしたい。治療のしんどさよりお金の問題で心が折れていく患者を如何にして支援していくか。ステージ4がん患者に障害年金受給してもらうにはどうしたらよいか。
 - 色々な機関があるので、こちらも少しずつ推進していくことでよいのではないのでしょうか。
 - 色々な団体が行っているため、差別化した啓蒙活動が必要と思います。
 - サイトの作りが分かり難い
 - がん患者や家族の本音を聞く機会が少ない

専門性を有する薬剤師の養成・認定に関する取り組みに関するご意見、ご要望

● 全般 18 件

- 積極的で良いと思います。
- 積極的で良いと思う。認定の名前から内容がイメージし難い
- 専門薬剤師制度など今後が期待できる
- 専門薬剤師の認定要件など、更新を楽しみにしています。
- 認定資格だけではなく底上げを期待します。
- 徐々に満足できる状況になってきていると思います。
- 新たな専門と認定の違いによるメリットなどは明確でないと感じます
- 医療薬学会に先駆けて制度を充実させていこう（結果、診療報酬にも結びつくような取り組みを進めていこう）という意思が感じられます。外来がん治療認定薬剤師の質の維持は今後の課題としますので、コロナ時代で web 等で研修もできますので、取得単位数を引き上げても良いように思います。
- 認定薬剤師、専門薬剤師と薬局向けに作られているので、しっかり学びたいと思います。薬局薬剤師が殺到していると思いますがハードルが下がり過ぎないようにして欲しい。
- 保険薬局薬剤師が実質的に目指しやすい資格を作ろうとしていることは評価できる。一方で、JASPO 以外が認定している物に対して、質は高くないと思われるところもある。質の担保が難しいだろうとも感じている。認定団体をいい加減、統一するように学会も動くべきだと思う。
- 他学会と協力して認定制度を統合してもらいたい
- 他のがんに関する認定との違いを
- 医療薬学会専門制度のように研修施設が責任をもって単位付与の研修会を開催するなどがされないため、県単位では JASPO の単位が付く研修会がほとんど無いのが問題
- まだまだ足りていない
- 全国大手チェーン優遇にみえてしまう部分が学会活動や役員からも伺えてしまい本当に指導者もいない薬局や病院薬剤師にこそ学会としてのサポートが必要かと思われます。門内や敷地内薬局との専門医療機関連携でなく患者さまは地元薬局にこそかかりつけがありそういった薬局でも専門医療機関連携薬局を目指せるように学会として取り組むべきではないかと思います。
- 病院や病院前の薬局の薬剤師向けで、それ以外の薬局の薬剤師は蚊帳の外な感じが嫌
- 地方の薬局薬剤師になると敷居が高すぎる
- 結局病院薬剤師向けの色が濃い

● 認定試験・更新・受験資格に関すること 14 件

- 癌専門の研修と同等の経験は病院経験のある薬局薬剤師は免除されるようなきちんと分けていただけることよろしく願います。
- 調剤薬局の薬剤師が仕事をしながらでも専門薬剤師の資格が取りやすい環境を作ってほしい。
- 普通の調剤薬局向けに(がん専門薬局でなく、健サポ薬局用に)準の資格を。症例報告するほど、がんの人はきません。
- 敷居が高めなので症例なしで比較的平易な外来がん化学療法準認定薬剤師などやテキスト方式や問題集方式の書籍があると学習が広く普及すると思う
- 介入事例 10 例のハードルが高く感じる（立地上枚数が少ない）

- 症例件数が少ない施設はきつい
- 未だに 調剤薬局薬剤師には症例数の壁が大きい。ハードルが高く、日頃から患者とやり取りできても、病院側があまり連携に積極的でない薬局では、症例表示は難しい事が多い
- 現在抗がん剤の取扱がない薬局に従事する薬剤師でも認定を目指したい薬剤師はいますが、そのような薬剤師にとって症例報告はかなり難しい話です。認定条件緩和とまでは言いませんが、救済・代替・補助プログラムがあればより助かるし、裾野が広がると思います。抗がん剤を受けている薬局にいないければ現在の学会の取り組みがいかに頑張っているにもかかわらずと悔しいです。薬・処方箋が先になるのではなく、学びへの気持ちもどうかご勘案いただきますようお願い申し上げます
- なかなか受験資格の条件が揃わない。
- 提出した症例に対するフィードバックがあるとありがたいです
- 症例の紹介などの閲覧ができると嬉しいです。
- jaspo の認定はハードルが低く軽く見られる印象があります。薬局の立場も加味しながら、個人で努力すれば得られる成果をもっと取り入れた方がいいのではないのでしょうか？論文や発表、更新時の症例提出など。
- APACC の更新申請に必要な単位数が多く、また JASPO の指定された研修会などしか認められずなかなか厳しい。（医療薬学会などは毎年参加しているが、医療薬学系の学会参加などは認めて欲しい）
- 3年ごとの試験は精神的に重い。症例報告の方が良いと思います。

● 研修に関すること 9件

- がん診療病院連携研修病院が少ないので増やして欲しい（2件）
- 仕事をしながらの連携病院研修は終日では無理。
- 病院研修について病院勤務者も申請可能として欲しい（自身も病院研修参加を希望しています）
- 調剤薬局薬剤師が病院研修はよい事だと思います
- 段階を踏んだ研修があり良いと思う
- 研修などをすべて受ければ、知識を有する薬剤師が育成されるようになっていけると感じる。
- 研修が不十分。外来がん治療認定薬剤師のレベルが低い。最も easy な資格と認識されているのは、貴学会の責任ではないか。
- 調剤薬局の薬剤師の研修の場をもっと作ってほしい。

● セミナーに関すること 8件

- 定期的なセミナーの開催を多数行っていただいているのはありがたいです。
- セミナーが充実している。認定試験に関する情報も増えてきてわかりやすくなってきた
- 本州出張厳しいため Web での開催が増えると有難いです。（2件）
- 新薬や新しいレジメンが次々が出るため、セミナーなどの企画はすごく有り難いです。
- コロナの状況下においても、WEB で勉強会を開催してくれて良かった。月に 1 回程度など定期的にあると良いと思います。
- 地方でもセミナーを開催してほしい
- 取得のための勉強会は参加したことがないが、目指している人にとっては助かると思う。
- 日病薬のがん薬物療法認定薬剤師の資格のみ有しており、外来がんの資格を持たないためセミナー受講による恩恵は

小さいかも

● その他 4件

- 外来がん治療認定薬剤師の試験は是非関西でも実施していただきたいと思います。
- 単位取得、試験、面接が主要都市のため勤務先が費用をすべて負担してくれればよいがそういうわけではないので地方では費用が掛かりすぎる。
- 若い刀、どんどん関わって欲しいと思います。
- 特にありませんが、有資格者同士の情報交流の場を作っていただけるといいかもしれません。

ホームページおよび学会誌による情報発信に関するご意見、ご要望

- 肯定的なもの 8 件
 - 見やすい、分かりやすい。(2 件)
 - DI 情報はいつも助かっています
 - このままでいいと思います
 - いち早く添付文書改訂などの情報を得られるためいつも利用しています。
 - メールで最新の DI 情報を得ることができ感謝しています。レジメン情報、ガイドラインなどの情報があると嬉しいです。
 - 学術大会やセミナーのお知らせだけでなく、承認薬や効能追加などの情報も発信していただき、網羅的な情報収集を可能として頂いているので、満足です。
 - 私も含め初心者には敷居が高いようにも感じますが、そこに合わせると質の低下を招きます。専門性のある内容で良いと思います。
- 要望 8 件
 - ホームページ上で、各種ガイドラインを閲覧できるようリンクを貼ってほしい。
 - 薬局向けの情報発信などもより増えていくと良いと感じております。
 - 初学者にわかりやすい内容も足して欲しい
 - 書籍による情報が欲しい
 - DI 情報にリンクだけでなく、簡潔で良いのでその薬剤の何が更新されたか記載して欲しい (2 件)
 - 添付文書の更新や、適応追加がよい。望めるなら、ASCO や海外臨床試験のデータや情報を m3.com オンコロジーぐらゐの更新頻度と情報があって見やすいサイトだとログイン回数は私自身は増える。
 - 学会誌の更新もメールで流してもらとうもう少し見ます
- 否定的な内容 (ホームページ) 7 件
 - 更新頻度が遅い (3 件)
 - サイトが見辛い、改善を (2 件)
 - メールから学会ホームページに行けないので、困っている。
 - ホームページは見に行こうと思わない限り見ない
- 否定的な内容 (学会誌) 3 件
 - 論文数が少ない。また、投稿しても、不適切なロジックでリジェクトされる。他誌では、すぐにアクセプトされる論文でも、こういう対応なので、査読に問題があると思えない。
 - 頻度が少ないですし、発行されても連絡もない。紙媒体でないのであれば、発行した旨をメール等で連絡してもよいのではないかとしますか？発行回数が少なすぎて知らないだけかもしれませんが。
 - 学会誌による情報発信のインパクトが弱い
- その他 3 件
 - 大学病院と、チェーンの門前薬局しか、関係ない感じ。
 - あまり見ることがなくて、すみません。

- 学会費を払ってなくても閲覧できるので。

JASPO の今後の運営に関して、改善点やご意見ご要望がありましたらお書き下さい。

- がん関連資格が乱立しすぎているので他学会とも協調してある程度まとめてほしい
- 臨床腫瘍学会と間違いやすい、共同運営はできないのでしょうか？
- 薬剤師だけのがん関連学会が特徴であると思うが、存在意義がよくわからない
- 薬剤師だけではなく多職種でがん薬物療法を学ぶ機会が JASPO でも増えることで、より刺激を受け励みになることと感じています。
- 外来がん治療認定薬剤師はがん患者指導管理料Ⅷの要件を満たしますが、がん診療拠点病院の要件に想定されている認定には含まれていないようです。こちらも対象として明記されるよう、ご尽力いただければと思います。
- 院外処方せんを発行していない病院でも、連携充実加算を算定できる環境を整えている病院ならば外来がん治療専門薬剤師の研修施設に認定してほしい。
- 病院研修の施設または受け入れ人数を増やしていただきたい。
- 研修会で JASPO だけでなく日本病院薬剤師会の単位も付けて欲しい
- 資格更新のための単位が系統的に管理されている等、他団体と比べても非常に素晴らしいと考えています。具体的ではありませんが、学会主導でアプリ開発等して頂けると、痒いところに手が届いていく様に思いました。
- 各県に責任者等を置いて研修会の開催に責任をもたせる必要がある
- お金かからないようにしてほしい
- 参加費が高いと思います。1 回の勉強会で 5000 円を越えると、迷います。
- 研修費もクレジットカードで決算できるようにしてほしい
- 年会費の納入方法にクレジットカード決済を加えて欲しい。
- 全国大手チェーンの委員や代議員の人数が多くなっていると思われます。昔から活動してみえる先生方を大切にすべきでは？ 病院と保険薬局の専門性や求められるニーズは異なります。認定制度を見直す必要があるのではとも思います。
- 少ない会費で質の高い研修が受けられるようになるとうい。また学会誌や刊行物を紙面でもらえるサービスがあるとよい。
- ガイドライン改定等の情報誌くらいはほしい
- まずは勉強を、と考えて入会しましたが抗がん剤に携わっていない、これから携わりたい薬剤師にとっては平易な言い方であれば敷居が高いところは致し方ないのかもしれませんが。
- 中央は色々うまくいっているかもしれませんが、地方はそうではありません。
- 地方も色々お願いします
- 現場目線が必要では。
- 何もできないまま 1 年過ぎてしまう年もあった
- 入会後にコロナ禍になったため満足度はきめられない
- 薬局向けの情報をもっと充実してほしい

● 学会、セミナーについて 21 件

- JASPO の年会でがん専門薬剤師認定制度の研修とみなされるものがほとんどなくなったことは政治的な背景を感じずにはられません。
- 学会が以前に比べてつまらないプログラムばかりになった。病院向けばかりで
- 学会での取得単位をマイページで確認できるようにして頂きたい。年会費も毎年自動決済方式にして欲しい。
- オンデマンド、web セミナー、準認定薬剤師、問題集やテキスト販売
- コロナ禍で大変ですがセミナー開催、期待しています
- セミナー・資格等で個人のスキルアップは感じている。
- セミナーが多すぎてよくわからない
- セミナーによって振込先が違う事がありわかりにくい。統一して欲しい。クレジット決済で有ればなおよし
- セミナーの開催回数など充実や、分かりやすい書籍などの発行もお願い致します。
- セミナーの参加人数を増やしていただきたいです。
- セミナーや勉強会の費用が高い。
- セミナー題などが高い
- 講習会の費用をもっと下げてほしい。
- これまでの学会運営には満足しているが、今後オンラインでのセミナーが主流になることを考慮すると、セミナーの料金設定をもう少し下げること検討していただけないでしょうか。
- 今後も積極的にネット配信でのセミナーを開催して欲しい。（出張費がなかなか出なく、東京や大阪に出て行くのが辛い）
- WEB セミナーの参加人数枠を拡大してほしい。
- Web での研修を今後も継続して欲しいです。
- ZOOM の制限人数を増やしてほしい
- 参加出来ない研修会の枠を増やす等
- 出来れば現地でもウェブでも参加できるようなハイブリッド開催にしてほしい。
- 様々なセミナーを用意していただいているのはこの学会の最大の魅力的だと思っています。委員の先生方の努力の賜物です。セミナーの資料は PDF での配布を希望。または自炊しやすいようにファイリングされているとよいです。（臨床腫瘍学会の教育セミナーみたいに）

● 認定制度について 7 件

- 昨年の症例報告で不合格だったのですが、何が悪かったのかわからないまま次の試験に臨むので不安しかありません。
- APACC 取得単位のための e-learning などがあると良いと思います。
- がん薬物療法認定薬剤師やがん専門薬剤師などの差別化を図らないと更新する人は減る可能性あると思う
- 外来がん治療認定薬剤師は認定期間が 3 年間と短く、更新にかかる費用がかさむために、更新をためらう声も耳にしたので、ご意見させていただきました。
- 外来がん認定薬剤師の継続にかかる費用を低価格にしてほしい。
- 認定の更新のための講習会、学会参加をもう少し余裕を持たせてほしい。
- スタートアッププログラムの拡充・リモート開催など間口を広くする取り組みを希望します。

● 情報交換、相互交流の推進に関する取り組み 7件

- JASPO ML に関して意見があります。質問に対して回答をもらうことが出来るのはとてもいい取り組みだと思います。ただし見ている限り、回答が複数いただけたり、活発な議論がなされているのはいいのですが、質問に対して何にも回答がもらえていないケースが散見されます。質問しても回答がもらえないかもしれないということであれば、質問はやめておこうと二の足を踏むケースもあるのではないのでしょうか。ひとつ提案ですが、質問がされて数日間回答が無い場合はどなたでも構いませんので、誰かが何かしらの回答を送るということにするというのはいかがでしょうか。そうすれば、質問に対して必ず回答がもらえるということになるので、もっと ML が活発になってくるのではないのでしょうか。
- メーリングリストはとても勉強になる。
- メーリングリストや教育セミナーの内容は充実している
- メールで質問回答もあるけど、もっと気軽に出来るシステム、チャット形式もあるといいと思います。昔はパソコン通信時代は医療者でニフティのチャットで色々意見交換出来ました。
- メールなどで情報発信あり勉強になります
- 過去のメーリングリストを一覧にして公開してほしい。
- 臨床上疑問点に対する会員同士の返答メールの整頓